

# 山仕事くらぶ活動記録

平成28年7月2日(土)	天候 曇り一時雨	記録者名 新井 義和
参加人員 男15名 女 名計15名	ゲスト 栗谷川 <sup>ひろえ</sup> 寛衛さん、川上 <sup>たけし</sup> 雄司さん	
活動場所 盛岡市・梁川盆の花	樹種	山林所有者 大坊 晃弘様
活動内容 刈払い、製材		活動面積/総面積 0,1ha / 10ha

活動場所及び周囲の地形 栗林近くの林道

午前中は、草刈り班，薪整理班，製材班に別れて作業しました。製材班では新入会員の伊藤さんを交えて、製材機を使って板を切り出し、残った半割丸太を流用してベンチを作成しました。いつもの山仕事と一味違いDIY精神がすぐられる作業を楽しみました。

お昼休みになると、なんとか持ちこたえていた空模様が一転して雨が降り出しましたが、日頃の皆さんの心がけのよさが神様に伝わったのか、不思議なことに午後の活動を開始するころには陽が差し込んでいました。

午後は、すぐ近所で工事をしている、鹿島建設新梁川区界トンネル工事所長の西川さんから、トンネル工事の概要や進捗状況のお話をお聞きしました。現場の地質は思ったよりも柔らかくて工事が大変だとか、興味の尽きないお話でした。さらに山荘に場所を移して、宮沢賢治と鉱物の研究をしておられる栗谷川さん、そして栗谷川さんが先生と呼ぶ岩手県立博物館 OB の川上さんのお話に耳を傾けました。宮沢賢治の地質学者としての足跡と、現在の偉い学者さんがその足跡を追えずにお粗末な報告をしていること、岩手の花崗岩に富んだ地質がたたら製鉄を盛んにし、鉄器を牛で運搬したことが米沢牛や山古志の闘牛に繋がることなど、いつしかお二人の話術に夢中になっていました。

復興支援道路「宮古・盛岡横断道路」最大の難所・新区界トンネルは、現代版・鞭牛和尚たちによってダイナマイトで堅い岩盤を砕き、コンクリートと鉄筋でトンネル内部を補強しながら掘り進めています。岩手県内の長ーいトンネルは・・・

新区界トンネル 4,998m  
新仙人トンネル 4,492m



西川所長「新区界トンネルは、完成すれば東北で3番目に長いトンネルになります。この工事に携われたことを誇りに思えます。・・・盛岡側から宮古側に4%の登り勾配のため、宮古側では排水に苦労しています。・・・」



チャート、砂岩、蛇紋岩等の岩石標本の解説

三度の飯より石が好きなおふたりが、蛇紋岩、花崗岩を熱く語る





